

点検ハンマー

第1号 発行日 2010年12月15日 発 責 石尾 光春・編 集 地本車技常任委員会

第13回定期委員会成功裡に終わる！

スローガン

安全と採算が補償されない「リニア中央新幹線構想」に反対し、安全と生活を守るために闘おう！

いまこそ組織の横系としての分科会運動を創造的に作りだそう！

私たち車両技術分科会は、12月12日（日）品川第一区民集会所において、新幹線地本車両技術分科会第13回定期委員会を開催してきました。冒頭、12月9日に亡くなられたJＲ東労組初代委員長の松崎 明氏への一分間の黙祷をささげました。

東京車両所分会、三島車両所分会から34名の会員の参加のもと成功裏に行ってきました。議長には修繕車両所の金子さんが選出されました。

金子議長からは、些細なミスで会社による「社員管理」がより一層厳しくなっている。各車両所ごとに攻撃の手法が変わっている、認識の一致をはかり闘っていこうと挨拶がありました。

石尾会長挨拶（要旨）

- ・ 12月9日に松崎さんが亡くなられた。会員の皆さんには、それぞれの思いがあると想います。権力からの攻撃に対して闘っていく決意を新たにしていこう。
- ・ 「ヒューマンエラー」により国労組合員の方が処分を受け、「若年出向」に出された。B Vハンドル抜き取り忘れのユニオン組合員はお咎めなし??
- ・ 車両所関係だけで昨一年間で、126件の事故やミスがあった。修繕車両所では、後確認の試験で後検認定者?なるもの作っている。他の車両所へ波及していくのではないか。
- ・ 専任社員の労働条件や待遇が悪い。シッカリやっていきたい。
- ・ 色々な問題について乗務員や関西地本の仲間、西日本の仲間と協力し取り組んでいこう。



来賓挨拶（要旨）

本部車両技術分科会松本会長

- ・ 10月31日に本部車両技術分科会の第19回定期委員会を開催し向こう一年間の闘う方向性を確立してきた。
- ・ 「中央締結ブレーキディスク」について本部車技のメインとしてやっていきたい。

新幹線地本森谷副委員長（車両技術分科会担当）

- ・ 1月のJ48事故、8月のO3侵入事故、何故起きたのか3つの車両所になっていろいろと問題が出ている、11月3日に第二検修庫でO3？事故が起きているが、原因は不明である。さまざまな問題について、何が問題なのか会社の対応はどうかハッキリとさせていかなければならない。

質疑については8名の方から（主な意見）

- ・ この一年「点検ハンマー」情報の取り組みが良かった。情報を交換し合う事が大事である今後も情報化をお願いしたい。
- ・ 交検で特修班が1・2・3班一本化されて来た。交検体制の見直しが考えられているのではないか。
- ・ 「ゴールデンハンマー」は何が問題なのか、昇進試験も学士にとられる、車両係で検査業務をさせられている。
- ・ 会社はミスをする、チェック表をどんどん増やしていく構内のチェック表も大幅に変更されている。各職場でも実作業より大変である。
- ・ F編成の故障が多い？故障履歴の水平展開をしているが、会社はどう考えているのか？
- ・ 退職等で年休が入らない。各職場においても年休の取得が困難である。
- ・ リニアについて何が問題なのか、何故反対するのかその理由は何かハッキリさせていこう

出された意見について布施事務長から（要旨）

点検ハンマーについては11号出してきた。会員間の認識の一致を目指す情報をこれからも出して行きたい。

「リニアの問題」「中央締結ブレーキディスクの問題」等、会社の狙いは何なのかしっかりと分析していこう。

実作業よりも大変なチェックシートとは本末転倒である。ヒューマンエラーについて、ハード面の対策がなくソフト面の対策ばかりである。

要求事項については地本業務部と連携し、取り組んでいきます。

今回で退任された菊地さん、森谷さん長い間ご苦労様でした。

新役員体制です。一年間よろしくお願いします。

会 長	石尾 光春	修繕車両所
副会長	秋田 齊	交検車両所
副会長	鎌田 孝一	修繕車両所
事務長	布施 喜一	仕業車両所
常任委員	土屋 浩一	修繕車両所